

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会
第20回 HWC標準作業会 議事録

1. 日時 : 平成25年7月25日(木) 10:00~12:00
2. 場所 : 日本原子力発電(株) 本店 2階 第11会議室
3. 出席者 : (敬称略)
(委員) 内田、高木、和田、小野、太田_大、久宗、浦邊(寺門代理)
(常時参加者) 上山、北島、山本、塙、太田_信
4. 配布資料 :
 - 20-1 第19回 HWC標準作業会 議事録(案)
 - 20-2 HWC標準作業会 新旧一覧表
 - 20-3 第14回 水化学管理分科会(PIISC) 議事録(案)
 - 20-4-1 水素注入(HWC) 標準の基本構想と進捗状況
 - 20-4-2 沸騰水型原子炉一次冷却系の腐食環境の定量評価方法に関する基本手順(案)(HWC標準原案)
5. 議事概要 :

HWC標準原案の内容について、水化学管理分科会で説明した結果と、今後の方針について検討を行った。

 - (1) 出席者の確認
出席者の確認を行い、委員8名中7名出席しており、必要な定足数を満足していることを確認した。
 - (2) 第19回HWC標準作業会議事録確認
久宗幹事より、資料20-1「第19回 HWC標準作業会 議事録(案)」の説明があり、承認された。
 - (3) 委員の交代について
久宗幹事より、資料20-2の説明があり、委員の寺門氏から浦邊氏への異動に伴う交替が了承された。次回の分科会で承認後、正式に交代する。
 - (4) 水化学管理分科会でのコメントの確認
内田主査と久宗委員より資料20-3の説明があった。
 - ① 分科会各委員より標準原案に対するコメントを6/21に締め切り、分科会当日のコメントと集約した。
 - ② 標準の内容について、前回V&Vの説明をしてから日数が経過していたこともあり、次回はV&Vの手法をより深く理解してもらうために説明の仕方を考え直す必要がある。
 - ③ 電力会社にとって、この標準の活用の仕方が不明瞭な恐れがある。より具体的な活用のイメージを明らかにする。例えば、適用例の例示として、本標準による腐食電位計算結果に基づき、予防保全工法ガイドラインから点検周期を評価した例を示すことを検討する。
 - ④ 評価手順の全体の流れを説明し、各段階が標準のどの項目に対応しているという説明も必要との意見があった。

(5) HWC標準原案について

分科会でのコメントに基づいて、今後修正すべき箇所について検討した。

- ① V&V用のECP実験値について標準的な挙動を示すべきか今後検討する。
- ② 標準は白黒版で発行するので、図表を白黒印刷で分かるように見直す。
- ③ 図表の単位等の表記を統一する。

(6) 今後の進め方

- ① 日立と東芝にて、標準原案の本文、附属書、解説について担当を定め、再度、内容の見直しを行う。次回の作業会は9/25とするが、事前に2社にて内容をすり合わせる。

(7) その他

次回（第21回HWC標準作業会）は、9月25日（水）14：00～17：00に原電本店2階(会議室未定)で開催する。

以上